

千葉ニュータウンのメダカ保全奮闘クロニクル

寺園直美（神崎川を守るしろい八幡溜の会）

神崎川を守るしろい八幡溜の会（以下当会）は、千葉県の北西部を流れる神崎川（延長約 16 k m、利根川（印旛沼）水系）の源流部に残されたミナミメダカ（以下メダカ）を千葉ニュータウン整備事業に伴う河川改修工事から保全するために 2012 年に立ち上げました。

神崎川は源流からニュータウン地区の調整池上流までは用悪水路、調整池下流からは一級河川と管理者が分かれており、それぞれの管理者は白井市と千葉県です。

河川管理者が分かれるので工事区間によってそれぞれ相談担当窓口が異なりました。

また、相談の結果、少しでも川の生きものが棲みやすい環境になるような工法が採用されたと思っても、改修後の河川構造の変化のためか外来魚のカダヤシやオオクチバス等の侵入もあり、工事前に捕獲したメダカの数に、現在はまったく及ばないのが現状です。

改修工事は今も続いており、最終的に完了するのは 3 年後の 2021 年度以降の予定です。工事の進捗を見守りながら外来魚を防除し、メダカが棲みやすい環境作りを目指す、当会の発足から今までの 6 年間のおもな活動を当会のマスコットキャラクターのメダジイとメダミがご紹介しますので、今後、目指す未来像に近づけるために、他の団体の方からの様々なご意見を伺えれば幸いです。

1. 河川改修工事対応期 2012 年～現在
2. 外来魚侵入確認、防除開始 2014 年～現在
3. メダカ田んぼ作り 2017 年～現在
4. 町川（まちかわ）公園をめざして



神崎川メダカのメダジイとメダミ